

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（担当者）	・前月同様、来客数や売上数が週単位で増加し始めたことから今後は若干回復する。
		住宅販売会社（従業員）	・商談を進めている客が契約に至るケースが増え、住宅建設着工戸数の若干の回復がみられることから、2、3か月後この効果がでてくる。
	変わらない	スーパー（経営者）	・来客数は前年を上回っているものの、単価は依然として低価格で推移し、厳しい状況にあることから、2、3か月後も変わらず現状のまま推移する。
		スーパー（企画担当）	・競合店との競争もあり、客数が今以上に伸びることは考えられない。今後も競合店が増える中、3か月先も景気が良くなる状況は期待できず、今月同様、厳しい状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・今年のパレタイン・デーは期待通りに売れなかったため、ホワイト・デーも同様の結果になる。
		衣料品専門店（経営者）	・これといって特別な材料が見当たらない。今後は我々自身がかなりの変化をしていかなければいけな
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・今月は前年比130%と好調で、改装、人事刷新、イベント、外商などで努力した結果がでた。しかし、客の財布のひもはどんどん堅くなっており、ストレスから、中年の方で酒を飲んでスタッフにからんだり、暴れたりする人が増えている。
		観光名所（職員）	・現在の当施設への来客者数は、最高来客数を記録した沖縄サミット開催や当施設の世界遺産登録などのあった平成12年度同月の来客数よりも上回っているが、これ以上の増加は厳しい。
	やや悪くなる	百貨店（総務担当）	・1年のうちで商売が最も厳しい時期であり、来客数の回復は現状では厳しい。
その他専門店〔書籍〕（店長）		・例年、新社会人向けの書籍が多く出回るのだが、今年は例年になく、定年後の身の振り方や再就職に向けてのスキルアップなど定年世代向けの本も多数出版されていることから、将来を楽観視できない様子が見え、例年になく景気は悪くなっている。	
悪くなる	商店街（代表者）	・現在、市場の中は観光客が多くにぎわっているが、肝心地元地の会社や一般客などが周辺のエリアにある店舗へと流れており、周辺エリアには安い店が今後もまだまだ出来つつあることから、周辺エリアへの客の移動は加速する。毎月、市場商店街は危機的状況にあ	
	ゴルフ場（経営者）	・イラクへのアメリカ攻撃が3月初旬から中旬にかけてあるのではという話が流れており、特に沖縄は嘉手納基地を抱えているので、その影響がかなりあるのではないかと危惧される。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	通信業（従業員）	・企画の案件があるという事は、クライアントでは企画の見直しが必要になっているといえる。企画した内容が実行されその結果としてクライアントが市場から利益を得てはじめて健全な状態であり、それは2、3か月先で判断できるものではない。大きな変化はもう少し先に判断すべきと考えており、当面、景気は変わ
		不動産業（支店長）	・景気が良くなるような兆しが見当たらない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び、引き合い件数が少なくなってい
	悪くなる	輸送業（営業担当）	・農産物の海上輸送へのシフトが大きくなっていることから、航空輸送の減少が予想される。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・求人数の動きが伸びているが、長期ではなく短期的なものが多く、安定した増加とは思えない。依頼が増えてもこれが具体的にどれくらい数字に反映されるか予測がつかないことから、さほど大きな伸びはなく、現状と同様に推移する。

	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者の離職理由を前年同月比で見ると自己都合離職者は20.8%、事業主都合離職者は3.5%とそれぞれ増加している。 ・依然として失業率は高水準で推移しており、本県の雇用失業状況は引き続き厳しい状況にある。
	学校〔専門学校〕 （就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として先行き不透明感はある。企業の大半も様子見的な感が強い。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-